

川越市国民健康保険赤字解消・削減計画進行管理表【令和元年度見込】

資料2

赤字解消・削減施策		指 標	令和元年度に実施した 具体的施策の内容	令和元年度 (2019年度)				
対策	事業			目標値	実績(見込)	赤字削減効果額(見込)	算出根拠等	
(1) 「健康経営」及び医療費適正化対策	① 「健康経営」事業の推進	-1 糖尿病性腎症重症化予防対策事業の実施	新規人工透析移行者数減少率(平成28年度実績比)	埼玉県、国保連、市町村の共同事業である「生活習慣病重症化予防対策事業」に参加し、糖尿病性腎症の重症化を予防し、人工透析への移行を防止するための相談事業を委託により実施。	2%減少	現段階では算出困難	現段階では算出困難	(R1.4~10月) 新規人工透析患者数:40人 (H30同時期:53人) ※H30は86人 基準となるH28は85人
		-2 特定健康診査と個別のがん検診と同時受診の体制強化	特定健康診査受診対象者のうち特定健康診査と胃がん検診の双方を受診した者の率	個別胃がん検診と特定健診と同時受診を可能とし、対象者が双方を受診しやすい体制の整備を整え、周知を図った。(数値は、特定健診と個別胃がん検診(内視鏡及びX線検査)を受診した者の割合)	9.32%	現段階では算出困難	現段階では算出困難	(R2.1.20現在 6~11月の6カ月分の実績) 胃内視鏡1,478人 胃X線(個別のみ) 2,771人 ※H30は胃内視鏡2,243人、X線6,496人 ※同時受診については、検診終了後に健康管理課が情報統計課にデータ作成を依頼し、そのデータから抽出するため、現段階では算出できない。
		-3 ときも健康プロジェクトの推進	プロジェクトの開催回数	ときも健康プロジェクトの会議を開催し、関係課による情報交換と、事業に関する検討。今年度は健康まつりに「ときも健康プロジェクトコーナー」を置き、関係課の事業の周知啓発を行う。	6回/年	6回	—	(R1.10月末現在)3回開催 推進部会1回 ワーキング2回 今後の見込み 健康まつりでのコーナー 出展1、ワーキング1、推進部会1
		-4 スポーツや運動関連の情報提供	教室・イベントの紹介数	運動関連の教室として健康づくり支援課の運動教室と健康マイレージ事業の紹介、市関連のイベントとして生涯スポーツフェスティバル、健康まつり、介護予防普及啓発講演会(介護予防の運動教室)の紹介を行う。	2件/年	5回	—	(R1.10月末現在)5件 ・コバトン健康マイレージの紹介 ・シェイプアップ運動教室 ・生涯スポーツフェスタ ・健康まつり ・介護予防講演会
		-5 関係機関との連携	医療機関向けアンケートの実施及び集約した意見をもとに内容の改善の回数	H30末に医療機関向けアンケートを実施。R2年度の特定健診の改善に役立てる。	1回/年	1回	—	H30年度末に医療機関向けアンケートを実施。結果を医師会に報告し、R2年度以降の健診内容の充実に向け、参考とする
		-6 地域包括ケアの推進	地域包括支援センターが開催する地域ケア会議等での情報提供回数	担当者会議に参加し、特定健診受診・特定保健指導利用の呼びかけを依頼。またKDBシステムを活用した健康課題に関するデータを提供を予定。 地域包括支援センター主催の地域ケア会議等に参加し、地域の関係者に情報提供する。	6回/年	6回	—	(R1.12月末現在) ・担当者会議 2回 ・地域ケア会議(高階地区他)1回 ・在宅医療介護連携の関係団体で構成された組織のエリアミーティング出席 3回

川越市国民健康保険赤字解消・削減計画進行管理表【令和元年度見込】

資料2

赤字解消・削減施策		指 標	令和元年度に実施した 具体的施策の内容	令和元年度 (2019年度)				
対策	事業			目標値	実績(見込)	赤字削減効果額(見込)	算出根拠等	
(1) 「健康経営」及び医療費適正化対策	① 「健康経営」事業の推進	-7 経営改善の方策	保険給付費等交付金特別交付金(保険者努力支援制度)の交付金額	各種保健事業や医療費適正化施策、収納率向上対策等に係る事業を実施し、交付金の獲得に努めた。	316,000千円	293,778千円	△20,311千円	国保制度改革により、H30との比較 293,777,987(R01)－314,088,566(H30)＝ △20,310,579
		-8 健康長寿埼玉プロジェクトの推進	事業への新規参加者数	埼玉県コバトン健康マイレージ事業について、特定保健指導、保健事業実施の際に、事業PRを行い、参加を呼び掛けた	1,000名	現段階では算出困難	現段階では算出困難	(R1.11月末現在) 事業参加者数:2,956人(うち国保1,044人) (平成30年度新規申込数971人(うち国保382人)、事業参加者総数2,191人)
		-9 健康メッセージ事業	応募作品数	「健診を受けよう!」をテーマに、小学生から両親、祖父母等大切な家族等がいつまでも健康であるために、健診を受けるよう、メッセージを送る(優秀作品を選び、特定健診受診率向上等に役立てる。)	100作品	R1.8月募集 101作品	—	R1新規事業 101人という多くの小学生の応募があった。子どもから「健診を受けてね」というメッセージを受け取り、健診受診へのきっかけを作ることができる。
		-10 他の医療保険者との共同事業の実施	他保険との共同事業の実施回数	他の医療保険者と協力し合い、保健事業を実施する(市民向けの講演会+保健相談の実施等)	1回/年	2回	—	・R1.8月、製薬会社との共催の市民公開講座に後期高齢者医療保険、協会けんぽに協力してもらい、講座及び相談会を開催。 ・残薬対策事業を後期高齢者医療保険と一緒に実施
	② 保健事業	-1 「保健事業等実施計画(データヘルス計画)」の推進	データヘルス計画の評価結果による事業実施数(新規事業含む)	「保健事業等実施計画(データヘルス計画)」(第2期保健事業実施計画)に記載された、新規保健事業について、事業を実施もしくは、次年度に向けての準備を進めた。	13事業	13事業	—	昨年度までに実施した各事業の継続実施及びR1新規事業として、インセンティブ提供(ときもいきいき健診プレゼントキャンペーン)の実施 等
		-2 特定健康診査受診率・特定保健指導実施率の向上	特定健康診査受診率	特定健診受診率向上に向け、これまでの取組に併せ、データヘルス計画に掲げた取組を実施。また、今年度は新規に理美容協会の会員理美容店にポスターの掲示と、お客に健診受診について声をかけてもらうよう依頼した。	44%	R1年度の受診率はまだ出ていない(参考) R1.12.28現在受診率速報値 23.2% (H30同時期受診率速報値 22.0%)	現段階では算出困難	特定健康診査受診率向上のための今年度の新たな取組み ・ときもいきいき健診プレゼントキャンペーン ・市内理美容組合店舗に、ポスター掲示と受診への声かけ ・ときも健康メッセージ ・路上喫煙防止街頭キャンペーンに参加し、受診勧奨声かけ(ポケットティッシュ配り)

川越市国民健康保険赤字解消・削減計画進行管理表【令和元年度見込】

資料2

赤字解消・削減施策		指 標	令和元年度に実施した 具体的施策の内容	令和元年度 (2019年度)			
対策	事業			目標値	実績(見込)	赤字削減効果額(見込)	算出根拠等
(1) 「健康経営」及び医療費適正化対策 ③ 医療費適正化	-1 レセプト点検強化	レセプト内容点検による減額査定額	業務委託によりAIを活用したレセプト点検を行っている。効率的な点検が行われるように、再審査結果を分析し、以降の点検に活用している。	0.11%	0.10% (11月末まで)	5,266,277円	11月末までの実績(3,510,851円)×1.5
	-2 療養費支給の適正化	療養費支給申請書の返戻件数	柔道整復療養費について、多日数、多部位、長期受診等の単月点検及び縦覧点検を行っている。本年度についても、回数を3回に増やして実施している。 入院レセプトと療養費支給申請書の突合については、今年度中に実施予定。	330件	190件 (12・1・2月に実施予定で12月分込み)	1,299,609円	12月末までの実績(974,707円)×4/3
	-3 ジェネリック医薬品の使用促進	ジェネリック医薬品使用割合(年度平均数量シェア)	ジェネリック医薬品希望シールの配布、利用差額通知の実施、健康まつり、JAまつり等イベントでの周知を行った。	78.0%	81.2% (R1.12月審査分)	現段階では算出困難	国保連に依頼して算出のため、現状では算出できない
	-4 第三者求償の取組み	求償件数	第三者特記事項が付いているレセプトについて、医療機関への確認を行っている。 联合会リストを利用し、医療機関に確認後、被保険者へ勧奨予定。	58件	36件 (12月末まで)	20,274,680円	12月末までの実績(15,206,010円)×4/3
	-5 不当利得返還金の取組み	収入率	保険者間調整の案内を同封する基準を2万円以上から1万円以上に引き下げ、高額滞納案件を早期に着手している。	64%	44% (12月末まで)	3,756,596円	12月末までの実績(2,817,447円)×4/3
	-6 医療費通知の取組み	保険者努力支援制度の評価項目(年度により変更あり)を全項目を満たしている率	医療費の額、受診年月日、医療機関名、日数等、保険者努力支援制度の評価項目を全て満たした医療費通知を送付している。	100%	100% (12月末まで)	—	
	-7 残薬問題に関する対策	事業参加者数	処方薬で残薬がある者を対象に、協力薬局の薬剤師が支援し、残薬の解消を図る	50人	現段階では算出困難	現段階では算出困難	今年度は試行実施(11月～R2.1月に事業実施 事業協力薬局数:26薬局) 12月末実績 ・残薬回収薬局数:9薬局 ・実績:16件(この他に処分目的の回収残薬が7件以上)
	-8 重複受診、頻回受診及び重複服薬	重複受診、頻回受診、重複服薬者の受診行動に変化があった者の割合	重複受診、頻回受診、重複服薬者をレセプト情報から抽出し、手紙、訪問等で指導を行い、その後の受診行動をレセプトにより確認する。	各対象者10%	現段階では算出困難	現段階では算出困難	今年度は試行実施 国保連に対象者抽出を依頼。1月から2月にかけて、電話、訪問等により指導を実施

川越市国民健康保険赤字解消・削減計画進行管理表【令和元年度見込】

資料2

赤字解消・削減施策		指 標	令和元年度に実施した 具体的施策の内容	令和元年度 (2019年度)				
対策	事業			目標値	実績(見込)	赤字削減効果額(見込)	算出根拠等	
(2) 見直し税設	①保険税設定の見直しに向けた検討	川越市国民健康保険運営協議会における保険税設定に係る会議開催回数	保険税の改定案について、川越市国民健康保険運営協議会に諮問を行い、協議いただいたうえ、同案を適当とする答申を得た。	1回/年	2回/年	—	—	
	②保険税の改定を実施	赤字削減額(平成31年度、33年度及び35年度に各3億円)	平成31年度の保険税の改定に向け、国民健康保険税条例の一部改正を行った。	3億円	3.3億円	3.3億円	9/15の実課税データを9/30の被保険者数に補正し、国保中央会の試算システムを使用し、税率等変更前、変更後の差額を算出	
(3) 収納率向上対策	①口座振替の推進	3月期の口座振替加入率(口振世帯数/国保世帯数)	当初課税時、納税通知書に口座振替依頼書の返信用封筒を同封するとともに、新たに、国民健康保険課窓口での加入の届出時に、口座振替依頼書の手渡しを開始。	28.87%	29.63%	現年課税分目標収入率 91.20% (90.86%) 滞納繰越分 23.72% (23.42%) 合計目標収入率 73.15% (70.85%) ()は、H30実績	R1.12末現在 調定件数 47,955件 口振件数 14,212件	
	②川越市納税呼びかけセンターを活用した納付勧奨	滞納者本人又は家族と対話できた割合(対話件数/受発信件数)	対話率の高い時間帯に合わせた架電を実施。	28.5%	28.24%		R1.12末現在 受発信件数累計 15,138件 対話件数累計 4,275件	
	③現年課税分未納者に対する早期の差押えの実施	—	20万円以上の現年滞納事案について、11月から財産調査を実施し、翌年1月から差押えに着手。	早期完結を図る	0		R1.12末現在	
	④徴収困難事案の処分停止による収入未済額の圧縮	地区担当者毎に抽出した高額滞納事案上位300件の滞納整理率の課全体平均値	徴収と併せた執行停止の推進。	30%以上	36.2%		市税等収入未済額 5月末 2,026,214,235円 12月末 1,292,568,297円 整理額 733,645,938円	
	⑤新たな納付手法の導入	—	税総合システムの開発と併せて、ペイジー納付及びクレジット納付機能の開発に係る計画書(仕様書等)の策定及び開発に着手。	開発	—		—	
	⑥短期被保険者証・資格証明書の活用	短期被保険者証・資格証明書の新規発行世帯数	短期被保険者証・資格証明書の候補世帯の選定、納付状況の確認、予告書の通知等を行ったうえ、新規発行を行う。	60世帯	73世帯		—	—
	⑦資格の適正化	国保資格の適用適正化調査項目数(3項目:二重加入、居所不明、擬制世帯、4項目:上記+無保険調査)	二重加入調査、居所不明調査、擬制世帯の調査を引き続き実施したうえ、新たに無保険調査を実施。	4項目	4項目		—	—